



中期経営計画 COMMIT5000

フォローアップレポート

三つの能力による

価値共創プラットフォームへの飛躍

—— 価値が溢れ出る世界へ ——

社会と生活を“再定義” = 真のDX

より豊かな社会、より良い生活の実現を支える

- ✓ 地球上の誰一人として取り残さない世界の実現への貢献
- ✓ 全ての人々の幸せと全人類の進歩への貢献
- ✓ 全てのステークホルダーの心をつかむ企業価値の創造への貢献

2025年6月期に売上収益 1,000 億円

2030年6月期に売上収益 5,000 億円

株式会社スカラ

東証一部 証券コード 4845

2022年2月17日

目次

I. サマリー	2
II. 社会を豊かにする	7
III. 生活をより良くする	10
IV. DX&投資	15
免責事項	19

I. サマリー

中期経営計画の取り組み状況

当社は2019年8月に「中期経営計画 COMMIT5000」において、「クライアントとともに社会問題をビジネスで解決する、価値共創企業」を目指すことを発表しました。その中で、2025年6月期に売上収益1,000億円、営業利益100億円、2030年6月期に売上収益5,000億円、営業利益500億円という高い成長目標を掲げております。

この成長目標のもと、デジタルトランスフォーメーション(DX)を通じて社会と生活を”再定義”しつつ、パートナー企業、官公庁、地域住民等ステークホルダーと共創し、社会課題に対するソリューションを生み出す価値共創プラットフォームとして、より豊かな社会、より良い生活を実現すること、それを促進し支える技術的要素をはじめとしたさまざまなリソース基盤を提供することが、当社グループの価値だと捉えています。

中期経営計画を発表して以降、さまざまな社会課題解決に向けた事業の創出に当社グループ全体で力強く取り組んでおり、この取り組みの蓄積により、成長目標の達成を目指しています。

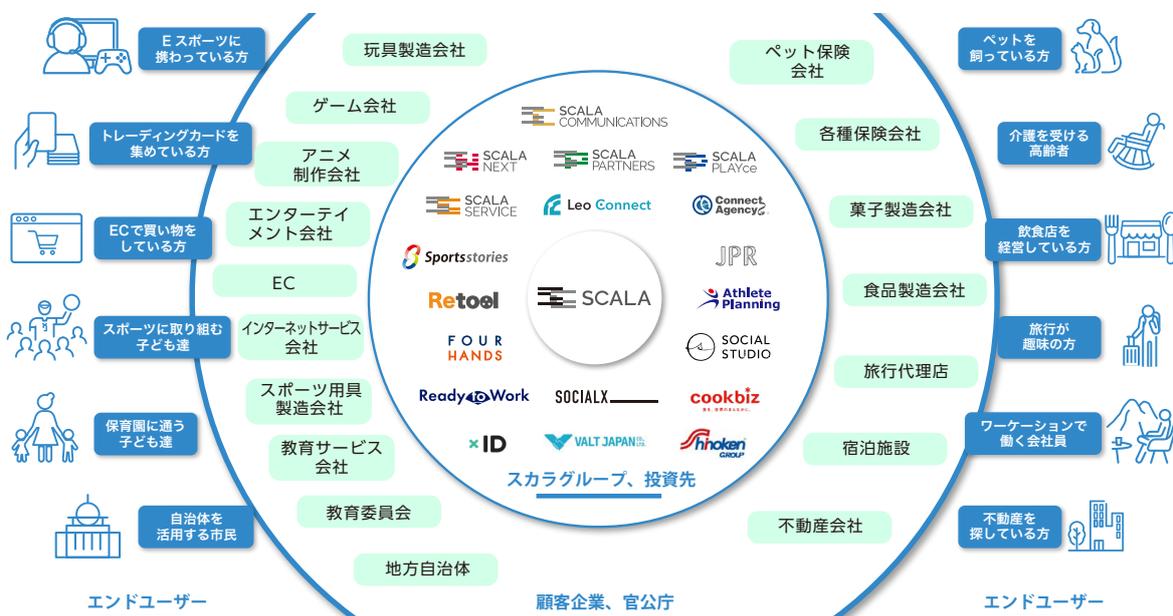
▼ 価値が溢れ出てくる世界へ

社会と生活を”再定義”=真のDX

価値共創プラットフォームとしての機能を発揮

より豊かな社会、より良い生活の実現を支える

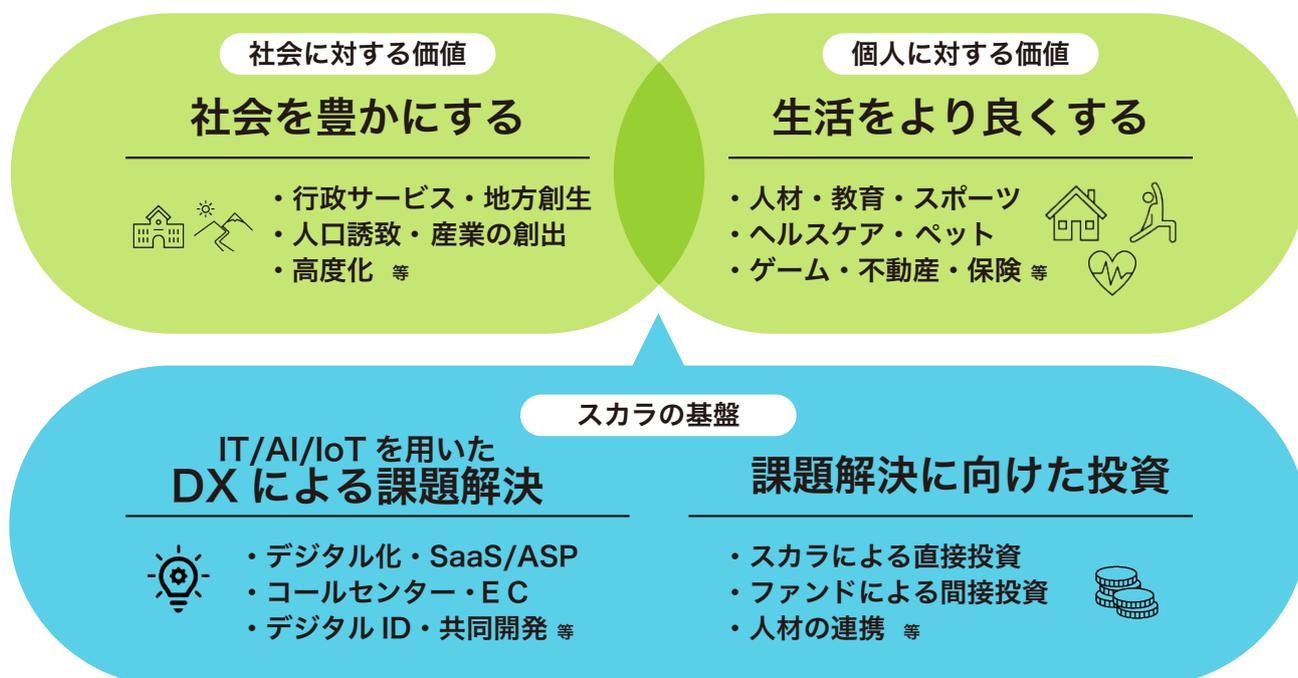
▼ 当社グループによる共創



DXと投資を基盤とした価値の提供

より豊かな社会、より良い生活を実現するため、当社はDXと投資を両輪として、社会と個人の生活における課題を解決することを念頭に置いています。当社の強みとして従来から有するIT/AI/IoT領域のソリューションを用いたDXの実績と、直接投資・間接投資や人材連携を含めた投資等、これらを現場の実態に合わせて柔軟に組み合わせることによって、課題解決につながる事業の創出や支援を行っています。この当社の考えとアプローチに共感する企業、官公庁等ステークホルダーと共創し、当社単独では成しえない大きな価値を社会と個人に対して提供していきます。

▼ 社会と個人の生活に対する価値の提供



事業展開の状況

先述の領域ごとの主な取り組み状況は以下の表の通りです。
 なお、詳細はII章以降でご説明します。

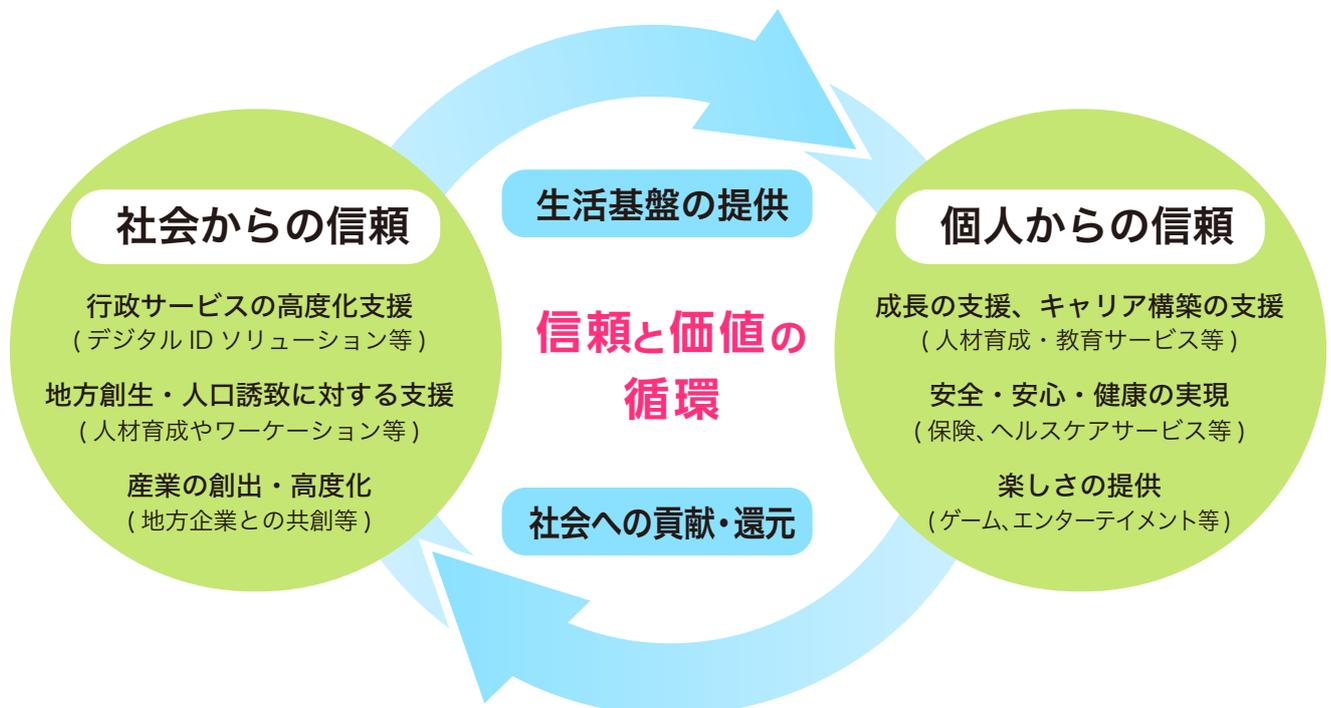
▼ 領域別の取り組み状況

領域	主な取り組み状況(抜粋)
<p>社会に対する価値</p> <p>社会を豊かにする</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 官民共創事業を担う(株)ソーシャル・エックスの設立 ● 「逆プロポ」の事業拡大、地方自治体との官民共創プラットフォームとしての展開 ● 全国の地方自治体と強固なネットワークを有する地方創生のパイオニアである(株)エッグの子会社化 ● 大企業と地方をつなぐワーケーション事業の展開 等
<p>個人に対する価値</p> <p>生活をより良くする</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 飲食企業に特化した人材会社であるクックビズ(株)への投資 ● 特徴あるペット保険を提供している日本ペット少額短期保険(株)の子会社化 ● 注文住宅データベースを持つアーキテクト・スタジオ・ジャパン(株)への投資とマーケティング支援 ● 投資用不動産販売の(株)シノケングループと電子契約プラットフォームの共同開発 ● より良い人生の基盤となる「ヘルスケアDXプラットフォーム」構想 等
<p>スカラの基盤</p> <p>DX & 投資</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● デジタルIDソリューションのxID(株)へ追加出資 ● 畜産業界初の家畜診療サポートサービス「U-メディカルサポート」の開発開始 ● マイクロサービスプラットフォーム「GEAR-S」によるSaaSサービス開発基盤 ● 少額短期保険の活用によるリスク移転事業の構想

信頼の蓄積、価値への循環

社会及び個人の生活に対して価値を提供・浸透していく上で、それぞれに対する信頼が重要となります。それぞれに課題解決を通じて価値を提供することによって、結果として社会や個人の信頼を得ることができ、そして更なる事業機会の獲得に裨益し、最終的に当社の成果であり企業価値へとつながります。すなわち、価値の提供は信頼としてあらわれ、その信頼は価値へとつながり、循環していきます。この信頼の蓄積から価値への連鎖が事業によって循環することで、社会と個人の生活に対する価値を高め、結果的に当社の企業価値の成長を支えることにつながります。このように、当社は事業に取り組むにあたって、「信頼と価値の循環」を意識しています。

▼ 信頼の蓄積、価値への循環



目標達成に向けたカギ(3つのケイパビリティ)

当社が培ってきた3つの能力(ケイパビリティ)、すなわち、①真の課題を探り出す能力、②リソースの埋もれた価値を炙り出す能力、③課題とリソースの最適な組み合わせを提案・実行し価値を最大化する能力をもとに、国内外の民間・政府・自治体へサービス提供を行い、目標の達成を目指しています。

▼ 3つのケイパビリティ

3つのケイパビリティ	これまでの対象と活動内容	これからの対象と活動内容								
① 真の課題を探り出す能力	<table border="1"> <tr> <td>対象</td> <td>日本・大企業</td> </tr> <tr> <td>活動</td> <td>直販営業</td> </tr> </table>	対象	日本・大企業	活動	直販営業	<table border="1"> <tr> <td>対象</td> <td>日本・グローバル・全ての民間企業 政府・自治体・NPO</td> </tr> <tr> <td>活動</td> <td>営業・経営コンサル・ メディアプラットフォーム</td> </tr> </table>	対象	日本・グローバル・全ての民間企業 政府・自治体・NPO	活動	営業・経営コンサル・ メディアプラットフォーム
対象	日本・大企業									
活動	直販営業									
対象	日本・グローバル・全ての民間企業 政府・自治体・NPO									
活動	営業・経営コンサル・ メディアプラットフォーム									
② リソースの埋もれた価値を炙り出す能力	<table border="1"> <tr> <td>対象</td> <td>社内リソース</td> </tr> <tr> <td>活動</td> <td>設計・実行・運営</td> </tr> </table>	対象	社内リソース	活動	設計・実行・運営	<table border="1"> <tr> <td>対象</td> <td>社内・社外のリソース IT/AI/IoT全般 人・もの・金・知識全ての提供</td> </tr> <tr> <td>活動</td> <td>設計・実行・運営 組織設計・リーダー・社員教育 資金投資・M&A アドバイザリー</td> </tr> </table>	対象	社内・社外のリソース IT/AI/IoT全般 人・もの・金・知識全ての提供	活動	設計・実行・運営 組織設計・リーダー・社員教育 資金投資・M&A アドバイザリー
対象	社内リソース									
活動	設計・実行・運営									
対象	社内・社外のリソース IT/AI/IoT全般 人・もの・金・知識全ての提供									
活動	設計・実行・運営 組織設計・リーダー・社員教育 資金投資・M&A アドバイザリー									
③ 課題とリソースの最適な組み合わせを提案・実行し価値を最大化する能力	<table border="1"> <tr> <td>対象</td> <td>顧客と当社グループ</td> </tr> <tr> <td>活動</td> <td>最適組み合わせの 提案・実行支援</td> </tr> </table>	対象	顧客と当社グループ	活動	最適組み合わせの 提案・実行支援	<table border="1"> <tr> <td>対象</td> <td>顧客・当社グループ 関係する全てのステークホルダー</td> </tr> <tr> <td>活動</td> <td>最適組み合わせの提案・実行支援 AI ベースのマッチング プラットフォーム運営 IR 支援・時価総額増大支援</td> </tr> </table>	対象	顧客・当社グループ 関係する全てのステークホルダー	活動	最適組み合わせの提案・実行支援 AI ベースのマッチング プラットフォーム運営 IR 支援・時価総額増大支援
対象	顧客と当社グループ									
活動	最適組み合わせの 提案・実行支援									
対象	顧客・当社グループ 関係する全てのステークホルダー									
活動	最適組み合わせの提案・実行支援 AI ベースのマッチング プラットフォーム運営 IR 支援・時価総額増大支援									

	売上収益目標	営業利益目標
2025年6月期	1,000 億円	100 億円
2030年6月期	5,000 億円	500 億円

3つのケイパビリティをもとに COMMIT5000を達成する

II. 社会を豊かにする

社会に対する価値の提供

都市化の進行や技術の発展により、社会環境、ハードインフラ、ソフトインフラは着実に高度化しています。一方、都市と地方の格差拡大、少子高齢化、過疎化等、社会(Society)が抱える課題は複雑化と深刻化の一途を辿っています。

DXと投資を通じて、また、企業や官公庁等ステークホルダーとの共創を通じて、社会に影を落とすこれらの課題を解消し、豊かな社会を実現するために取り組んでいます。以下は社会に着目した主な取り組みになります。

▼ 「社会を豊かにする」ための主な取り組み(例)

取り組み	ステークホルダー	課題	実現したい世界観
官民共創マッチングプラットフォーム「逆プロボ」	地域住民 自治体・プロジェクト参加民間企業	最適な官民共創を阻む障害	シティズンエクスペリエンスを向上させる優良な官民共創
自治体向けデジタルID認証各種申請システム	自治体住民 自治体・関連産業	紙の郵送を原則として手続きが煩雑化し時間がかかる	マイナンバーカード認証で、あらゆる行政サービスの使いやすさを向上させ自治体と住民のつながりを促進
地域子育て	幼児・小学生・地域市民	子育ての問題を起因とする貧困化、地域の不活性化、少子高齢化、多様な理由により自宅学習を余儀なくされる児童	グローバルに「地域の真ん中に子育てがあるといい町」を推進。子育てを起点とした地域交流の促進、孤独の解消、共感の欠乏の解消
Komforta Workation 『Work × Location × Connection』	新規事業開発企業・社員 (株)スパイスアップ・ジャパン (株)みらいワークス、(株)休日ハック	人口減少と少子高齢化による、地域コミュニティ存続の危機	地域課題を解決する場として、複数民間企業の社員の対話を創出、都市と地方の交流の促進
どこでも学べる 「旅するキャンパス」	就学児童及びその家族 (株)クラスジャパン学園	地方移住の障害となる子育て環境の障害、不登校問題	どこでも安心できる良質な学びの場をICT、地域交流により提供。孤独の解消、共感の欠乏の解消
地方創生のパイオニア (株)エッグの子会社化	自治体・地域住民・ふるさと納税者	遅れている地方自治体DX 高齢者におけるフレイル(身体機能・認知機能の低下が見られる状態)問題	フレイル問題の早期発見と対応による高齢者の社会からの孤立化・孤独化の解消。地方創生に寄与する、人・組織・社会の最適交流を促進するDX

トピックス1：新たな官民共創のカタチを提供する (株)ソーシャル・エックスの設立

新たな官民共創のカタチを追求する新会社として、新しい経営体制により(株)ソーシャル・エックスを設立しました。官と民の共創・協働により、プロジェクトが円滑に進むプラットフォームサービスとして「逆プロポ」の提供や、地方自治体もしくは団体が行っている同類のサービスに対して、「逆プロポ」の知見・ノウハウを提供していきます。

2021年1月から本格稼働した「逆プロポ」は、自治体からの応募件数が約50件に達するとともに12のプロジェクトを誕生させています。各プロジェクトが進行する中で、課題の解像度が高まったことから、「こども食堂応援Wi-Fi」や共創する自動車保険「&e(アンディー)」等、新サービスの開発・提供が実現しております。今後、各種プロジェクトから世の中をアップデートしていくサービスの社会実装に取り組んでまいります。

▼ 「逆プロポ」の主なプロジェクト

SOCIALX

「官民共創に最高の体験を。」

 GOOD DESIGN AWARD
2021年度受賞



ステージ	「逆プロポ」による官民共創プロジェクト・新サービス	参画パートナー
開発・提供が実現	こども食堂DX	枚方市 × (株)ワイヤレスゲート
	子育て支援事業のDX	生駒市 × (株)ワイヤレスゲート
	介護施設の夜間救急搬送モデルの確立	北九州市 × ドクターメイト(株)
	ワクチン予約等各種予約システム	滋賀県日野町 × (株)スカラ
開発・提供に向けてプロジェクト進行中	より安全な交通環境・社会の実現	イーデザイン損害保険(株)
	災害発生時における減災に資するオペレーションの高度化	キムラユニティ(株)
	住民向け通知物のデジタル化	凸版印刷(株)

トピックス2：地方創生のパイオニア(株)エッグの子会社化

ふるさと納税制度の地方自治体向け基幹システムを初めて開発したパイオニアで、全国の地方自治体の1/3にあたる約680の自治体に導入実績を持つ(株)エッグの子会社化を2022年2月に発表しました。

自治体向けの豊富なシステム開発及びBPO運用の信頼と実績、強固なネットワークを活かして、地方のDXを加速させていきます。また、高齢者におけるフレイル(身体機能・認知機能の低下が見られる状態)の早期発見システムも開発しており、高齢化が進む地方において、自治体の財政負担の軽減にもつなげる、フレイル対策のパッケージを提供していきます。これにより、適切な治療や予防から要介護状態になることを防ぎ、健康寿命の延伸と社会保障費の削減に貢献してまいります。

▼ ふるさと納税の自治体向けシステム開発シェアNo.1の(株)エッグを子会社化



システムクリエイター
株式会社エッグ
<http://www.egg.co.jp/>

導入実績
No.1

全国 **680**自治体 以上

(2019年4月現在/当社調べ)
構築中を含む

発送ミスが
無くなった!

サポート体制が
しっかりしている!

統計機能も充実で
とても便利!

事務負担が
半分以下になった!

Excelより
入力も確認も楽です!

検索もカンタンで
うれしい!

Ⅲ.生活をより良くする

個人の生活に対する価値の提供

テクノロジーの進化とスマートフォンやSNSの普及により、個人の生活における利便性は劇的に高まっています。一方、個人同士がリアルに触れ合う機会の減少、持つ者と持たざる者の格差の拡大と固定化、これらによる個人間の分断等、個人の生活に目を向けると、生活様式の変化にも影響を受けて、新しいタイプの課題が増えています。これを機会と捉えて、社会に対する価値の提供と同様にDXと投資を通じて、また、企業や官公庁等ステークホルダーとの共創を通じて、個人の生活上の課題を解消し、個人のより良い生活を実現することに取り組んでいます。以下は個人の生活に着目した主な取り組みになります。

▼ 「生活をより良くする」ための主な取り組み(例)

取り組み	ステークホルダー	課題	実現したい世界観
不動産トラストDX	施主・不動産取引の関連者全て (株)シノケングループ、xID(株)	膨大な量の紙ベースの処理を必要とする不動産取引の非効率性	多くの人々が不動産取引を簡単に安全に行える「不動産のサービス化」
建築家住宅ECサイト [PROTO BANK ATION]	施主・不動産取引の関連者全て アーキテツ・スタジオ・ジャパン(株)	建築家住宅の取得には非常に多くの手間と時間がかかる	名作住宅の図面をWebカタログ化し、建築家との家づくりを最速化。住宅に関する個人の価値観の追求の新たな選択肢の提示
飲食ビジネスDX	飲食産業の関連企業・社員 クックビズ(株)	飲食サービス業の「低労働生産性」 「店内売上・新規顧客依存」	各種フードテック、スマートキッチンによる新食体験・食サービスを共創キャリア形成、多様な価値提供、より豊かな生活の実現
人材・教育	学生・社会人・採用企業	AI/IoT 時代における組織と人材のミスマッチ	AI/IoT 時代で活躍する能力の継続育成と組織とマッチング
	幼児・小学生・地域市民	スポーツの健康・運動能力・人格形成・学業への最新理論の実践	スポーツの健康・運動能力・人格形成・学業への最新理論の実践
ゲーミフィケーション	全ての消費者	ゲーミフィケーションによる価値提供の可能性の余地	好奇心を満たすゲーミフィケーションを通じた価値提供
家畜診療サポートサービス「U-メディカルサポート」の開発	農家・獣医師/ (株)スカラコミュニケーションズ、三井住友海上火災保険(株)、デザミス(株)	診療メモ作成やカルテ作成等の診療関連業務に時間が割かれている現状とデータの利活用が不十分な状況	業務効率化、データの利活用に健康な家畜の育成、農家と獣医師の最適な共創関係の構築、地域発展貢献
ペット保険「いぬとねこの保険」を提供する日本ペット少額短期保険(株)を子会社化	個人・ペット	ペット動物の高齢化 ペットを通じたオーナーの幸せに通じるサービス展開の可能性	ペットの健康をデジタル技術、保険でカバーし、より安心して過ごすペットとの幸せな生活空間
より良い人生の基盤となる「ヘルスケアDXプラットフォーム」構想	生活者・食品・医薬・医療・介護 保険会社・各種レジャー企業	増え続ける医療費問題	パーソナルヘルスケアデータを軸に関連産業と連携した最適な健康寿命の拡大の実現

トピックス1：人材・教育事業の取り組み

当社は人材・教育事業を通じて、個人のより良い生活を支援しています。具体的な事業としては、体育会学生や女子学生に特化した新卒採用支援及び合同説明会やキャリアセミナー等のイベントの企画・運営を行う新卒採用支援サービス、保育園『みんなのほいくえん』、インターナショナル幼保園『Universal Kids』、国際感覚を養う学童『UK Academy』、放課後等デイサービス『ラルゴ KIDS』等の保育・教育サービス、子ども向けスポーツ教室、スポーツイベントの企画・運営及びオンラインによるスポーツ教育サービス等を提供しております。

新卒採用支援サービスにおいては、新卒学生向けの支援体制の強化及びサービス提供に注力しております。また、アフターコロナを見据えた企業においては、2023年大卒向けの採用活動に向けた活発な動きもあり、合同説明会等のイベントの開催を積極的に実施しております。

保育・教育サービスにおいては、学童『UK Academy』の児童確保に力を入れるとともに、保育園等においてイベントを開催する等により、保護者及び幼児達がコロナ禍でも楽しめる施策を推進しております。2022年1月に㈱フォーハズがスポーツ庁委託事業である令和3年度「Sports in life 推進プロジェクト（スポーツ実施を阻害する課題解決のための実証実験）」に採択され、「オンラインライブシステムを活用した児童向けスポーツ教室事業」に参画しております。

▼ 「生活をより良くする」ための主な取り組み（例）

取り組み	内容
体育会学生や女子学生に特化した新卒採用支援	オンライン面談等を活用した新卒学生向けの支援体制の強化及びサービス提供に注力し、合同説明会等のイベントの開催を積極的に実施
保育・教育サービス	<p>学童『UK Academy』の児童確保に力を入れるとともに、保育園等においては、イベントを開催する等により、保護者及び幼児達がコロナ禍でも楽しめる施策を推進</p> <p>オンラインライブシステムを活用した児童向けスポーツ教室事業に参画 -スポーツ庁委託事業 令和3年度「Sports in life 推進プロジェクト」に採択-</p> <p>横浜市都筑区に新たなジュニア専門スポーツ施設「仲町台スポーツパーク」開設ならびに北島康介氏が設立したスイミングクラブ『KITAJIMAQUATICS』新規開校へ向けた契約締結（2021年6月）</p>

トピックス2：畜産業界初の家畜診療サポートサービス「U-メディカルサポート」の開発

2022年1月より、(株)スカラコミュニケーションズは三井住友海上火災保険(株)とデザミス(株)との共創プロジェクトとして、家畜診療におけるコミュニケーションシーンをデジタルで支援する、畜産業界初の診療サポートサービス「U-メディカルサポート」の開発を開始しました。

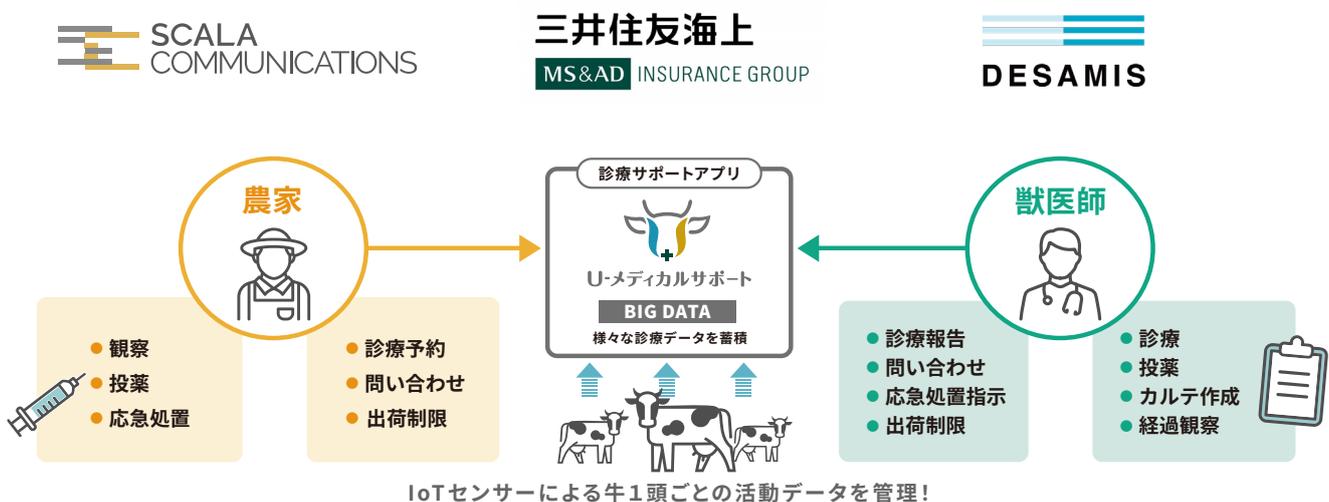
三井住友海上火災保険(株)とデザミス(株)の共同研究で培った牛の活動量データや過去の病歴データ等を活用した疾病予測モデルを組み込んだサービスとして、(株)スカラコミュニケーションズがプロジェクトマネジメント、サービス開発、販売、運用、データベース分析等を担います。

多くの獣医師は、診療メモ作成やカルテ作成等の診療関連業務に時間を取られており、業務効率化が課題となっています。こうした中、タブレットやスマートフォンを使って診療のサポートを行うことにより、診療時間の短縮や業務効率化を目指します。また、獣医師と農家のやり取りは主に電話やFAX、郵送、SNS等で行われており、データベース化しづらい構造になっていたため、畜産業界でもあらゆるデータを分析でき、事実に基づいて戦略を実行できるよう、業界の更なる発展に貢献していきます。

本システムは、IoTとAIを活用した牛の行動モニタリングシステム「U-motion®」※と連携し、診療後の牛個体の診療経過を、手元のスマートフォンやパソコンで確認できるようになります。また、診療をサポートするメモ機能や電子カルテ作成機能、現症や薬剤等の各種マスタ機能、農家や牛個体情報の検索機能のほか、農家向けFAQやチャットボット等の実装を予定しています。今後も更に新機能を追加し、獣医師や農家の課題解決につながるサービスの開発・提供を目指します。

※ デザミス(株)が開発した、牛の首に取り付けたセンサーが牛の行動をモニタリングし、反芻・動態・横臥・起立等の牛の主要な行動を24時間365日記録することで、牛の健康状態をリアルタイムに把握できるサービスです。集積された行動データを用いて、人工知能が牛の異変を自動で検知し、疾病・発情・起立困難等の場合はアラートでお知らせします。

▼ 3社の共創プロジェクト



(株)スカラコミュニケーションズは、プロジェクトマネジメント、サービス開発、販売、運用、データベース分析等を行う

トピックス3：特徴あるペット保険を提供する日本ペット少額短期保険(株)の子会社化

ペットの少額短期保険「いぬとねこの保険」を提供してきた日本ペット少額短期保険(株)の子会社化について 2022年2月に発表しました(監督機関の承認をもって正式に子会社となります)。

日本ペット少額短期保険(株)は、「ペットを愛する全ての人々の喜びと満足のある文化の創造」をモットーに、補償割合90%の保険商品等、特徴ある保険商品を提供し、さまざまなお客様のニーズに対応するとともに、ペットと人との幸福な共生の実現とペット業界のあるべき姿への変革を目指し、社会貢献につながる事業を創業時より展開しております。ペットは家族の一員となり、ともに生きていくという潮流が強まってきた社会構造の変化の中において、ペット保険を起点としたペットとペットオーナーの幅広い健康に関するコンシューマーサービスを開発・提供することにより、人が幸せに暮らせる世界を創ってまいります。

▼ ペット保険「いぬとねこの保険」を提供する日本ペット少額短期保険(株)を子会社化

日本ペット 少額短期保険株式会社

ともに生きる家族の安心のために

いぬとねこの保険

▼ ペット保険から多様な保険領域への展開(イメージ)



高齢者に何かあった時でも
ペットが安心して暮らせる保険



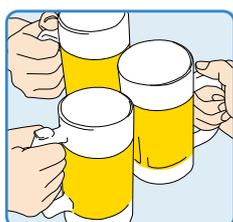
子どもが運動中に
怪我をした時の保険



郵送中に商品が
破損がした際の保険



旅行がキャンセルに
なった時の保険



お客さまが予約を
キャンセルした際の保険



地方への移住が合わず
東京に戻る際の保険



Eスポーツの最中に
通信が切れた時の大会費の保険



トレーディングカードの
家財保険

トピックス4：ヘルスケアDXプラットフォーム構想

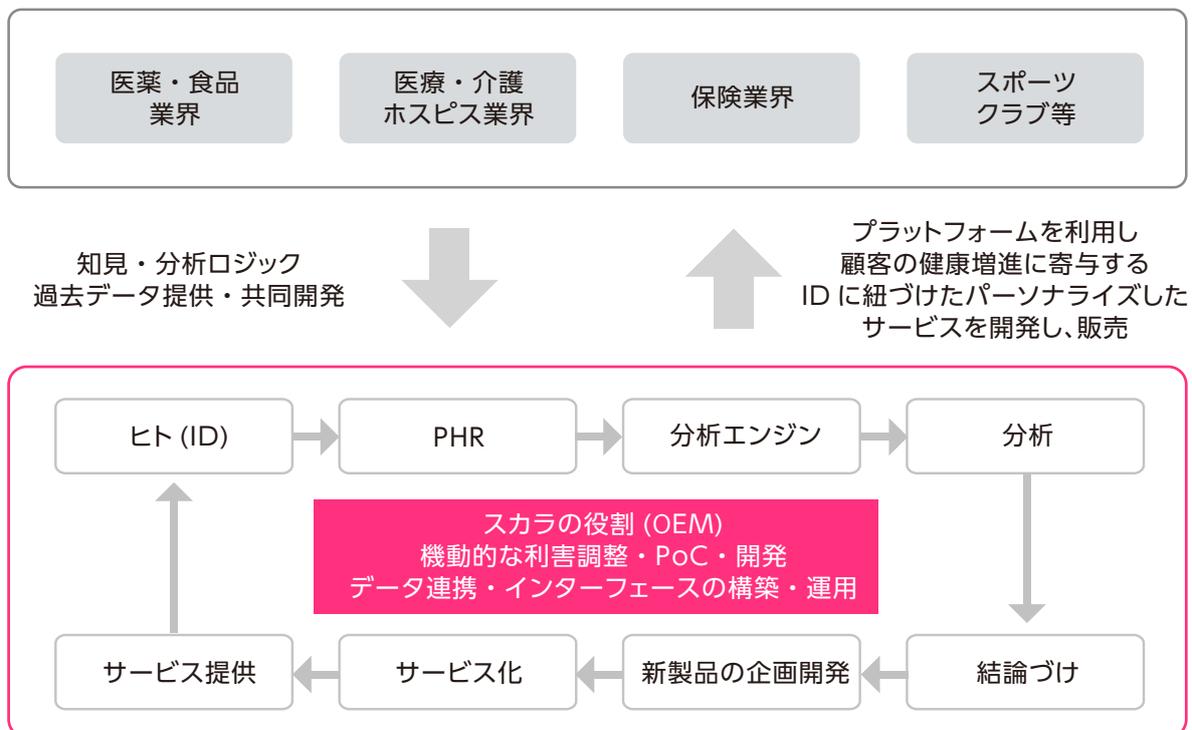
新たな取り組みとして、製薬会社及び損害保険会社と共同で企画・共創により、ヘルスケアサービスの新規開発を進めております。すでに実証実験の段階に入っており、今後サービス化を予定しております。

日本は世界一平均寿命の長い国であり、少子高齢化社会への対応が大きな課題です。しかし、健康寿命とのギャップは広がり、社会保障費や医療費の負担が拡大しています。企業においては従業員の健康は生産性向上に大きく寄与し、個人においても健康な生活をいかに長く過ごせるかは、豊かな社会実現のために重要な課題です。

当社グループではこうした課題に対応するため、「ヘルスケア DX プラットフォーム」の構築を目指します。各社と当社が持つリソースを掛け合わせて事業を進めることで PHR(Personal Health Record) を収集し、業界に縛られずにつながりが価値を生むプラットフォームとして、ヘルスケアにおける個別最適化されたサービスの開発・提供を推進します。

これらの取り組みにおいては、個人情報保護関連法制の厳格な順守等はもちろん、関係者の信頼の蓄積が極めて重要になります。こうした視点に基づき、マイナンバーカードを活用し、かつ厳格な情報保護を適用したデジタル ID ソリューションによる SaaS 開発により、データの最適な連携で、パーソナルな情報に基づいた個人が望む最適な「健康寿命の追求」の実現を支援していきます。

▼ ヘルスケアDXプラットフォーム構想の概要



IV.DX&投資

「社会を豊かにする」サービスと、「生活をより良くする」サービスの提供のための基盤

当社が従前から強みとして有するIT/AI/IoTソリューションを通じたDX、また、直接投資・間接投資や人材連携を含む投資、大きく分類するとこれらの2つが当社の基盤となります。この柔軟な組合せ、及び企業や官公庁等ステークホルダーとの共創により、社会に対する価値の提供、個人の生活に対する価値の提供につなげることが、当社ならではの価値であると捉えています。

以下は、当社の基盤としてのDXと投資の強化に着目した主な取り組みになります。

取り組み	ターゲット受益者とパートナー	社会課題	実現したい世界観
デジタルIDソリューションの xID ^株 へ追加投資	生活者、xID ^株	データ利活用と個人情報保護のト レードオフ	応用展開のしやすいインフラ基盤と しての「xID アプリ連携プラットフォーム」の開発を推進し、安心・安全なサ ービスをスピーディーに提供可能に
マイクロサービスプラットフォーム 「GEAR-S」の本格活用	自治体 海外及び日本企業	個別企業の優良なDXの取り組み の業界横断的な展開が困難	社会課題を解決する新規サービス 創出とSaaS化のエコシステム
価値創造経営・DX ワンストップ支援	海外及び日本企業	価値創造につながる本質的なDX プロジェクトが容易に進展しない	野心的な変革目標の設定と実現の ためのDXでワンストップ支援
カスタマーサポート	海外及び日本企業	カスタマーサポートオペレーター 体験に課題があり離職率が高い	利用者体験・オペレーター体験の 最大化で顧客とともに価値を創造
少額短期保険の活用によるリスク 移転事業の構想	当社の顧客(自治体・民間大企業) 保険会社	増え続ける新たなリスク	適切なリスクマネジメントによる リスクチャレンジの機会創出

トピックス1：デジタルIDソリューションのxID(株)へ追加出資

マイナンバーカードを活用したデジタルIDソリューション「xIDアプリ」と連携する、利便性の高いサービスの創出を一層強化することを目的として、xID(株)へ追加出資しました。マイナンバーカードを活用したオンラインでの本人確認、電子署名、電子契約と連携したサービスのニーズは、長引くコロナ禍の影響もあり高まっております。当社が得意とする柔軟なアジャイル開発とデジタルIDにおける知見、ノウハウを掛け合わせ、利便性の高い具体的なサービスを提供します。具体例として、災害時等に発生する煩雑な作業が発生する自治体や保険会社等に対し、電話・Web・紙面でのやりとりの一元管理が可能で、スピーディーに安心・安全な本人確認ができるツールを提供できる「xIDアプリ連携プラットフォーム」を構築しております。これをインフラとして、日本全国の自治体に提供することを推進しております。「xIDアプリ連携プラットフォーム」は当社のマイクロサービスプラットフォーム「GEAR-S」にも組み込まれています。

なお、xID(株)による今回の第三者割当増資においては、当社の他に、SOMPOホールディングス(株)のデジタル事業子会社であるSOMPO Light Vortex(株)、(株)クレディセゾンのコーポレートベンチャーキャピタルである(株)セゾン・ベンチャーズを引受先としており、今回の追加出資を契機にxID(株)との取り組みをより一層強化してまいります。

今後強化していく内容としては、①当社顧客(民間企業)と共創、提供するxIDアプリ連携プラットフォームの開発の推進、②当社顧客(自治体)と共創、提供するxIDアプリ連携プラットフォームの開発の推進、③次世代のデジタルID連携サービスの共同企画、共同開発の推進等が挙げられます。

▼ マイナンバーカードを活用した「xIDアプリ」を提供するxID(株)へ追加出資



今後強化していく内容

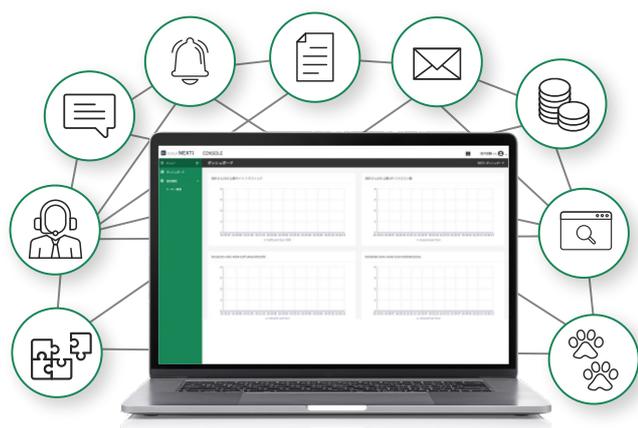
-
- ① 当社顧客(民間企業)と共創、提供するxIDアプリ連携プラットフォームの開発の推進
 - ② 当社顧客(自治体)と共創、提供するxIDアプリ連携プラットフォームの開発の推進
 - ③ 次世代のデジタルID連携サービスの共同企画、共同開発の推進
-

トピックス2：マイクロサービスプラットフォーム「GEAR-S」の本格活用

当社が継続的に開発に取り組んでいるマイクロサービスプラットフォーム「GEAR-S」(旧名称:NEXTi)がCMSとしてネット銀行に導入されました。今後も企業向け、地方自治体向けのSaaSサービス開発の基盤として、更に開発を推進してまいります。

Webアプリの開発環境を即日で構築し、開発済機能(マイクロサービス)を組み合わせることでカスタマイズして、SaaSソリューションを迅速にリーズナブルなコストで開発することを実現します。また、マイナンバーカードを使ったデジタルID連携サービスをビルトインすることで、厳格な個人情報保護を図りながら、個人・組織・地域間のリアルな生活空間とデジタル空間の最適融合による、個人・社会の価値の最大化を追求していきます。

▼ マイクロサービスプラットフォーム「GEAR-S」



- WEBアプリの開発環境を即日で構築
- 開発済機能(マイクロサービス)を組み合わせることでカスタマイズ可能
- マイナンバーカードを使ったデジタルID連携サービスがビルトイン
- 自治体向けWEBアプリ、官民連携WEBアプリ等の開発を加速



厳格に個人情報を保護し
データの利活用による、リアルな生活空間とデジタル空間の
最適融合を推進

トピックス3：少額短期保険の活用によるリスク移転事業の構想

上述の日本ペット少額短期保険㈱の子会社化により、保険業を入り口として金融業に参入し、当社グループが保有する各業界へのチャンネルを活かした更なるビジネスへ展開いたします。特に保険業を通じたリスク移転が可能となり、当社が知見を持つIT/AI/IoT等を利用したデータ解析、リスク分析と組み合わせることで、顧客パートナーが抱えるリスクに関して最適なソリューションの提供が可能になると考えております。

IT/AI/IoT技術がさまざまな事業サービスを通じて世の中に拡大・浸透していく中で、利便性や価値向上の裏に隠されたリスク、また、想定されなかったリスクに対して、当社が価値創造のデザイン段階から分析し、IT/AI/IoT技術とセットで提案をすることにより、一層の安心・信頼できる社会実現が可能になると考えております。

▼ 少額短期保険の活用によるリスク移転



免責事項

本資料には株式会社スカラ（以下「スカラ」といいます）に関連する予想・見通し・目標・計画等の将来に関する事項が含まれております。これらはスカラが本資料作成時点において入手した情報に基づき、当該時点における予測等を基礎として作成されております。これらの事項には一定の前提・仮定を採用しており、一定の前提・仮定はスカラの経営陣の判断ないし主観的な予想を含むものも含まれております。

また、様々なリスク及び不確実性により、将来において不正確である事が判明し、あるいは将来において実現しない事があります。従って、スカラグループの実際の実績、経営成績・財政状態等についてはスカラの予想・見通し・目標・計画とは異なる結果となる可能性が有ります。

その為、本資料に掲載されている予想・見通し・目標・計画等の将来に関する事項について、スカラグループではそれらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

本資料に掲載されている情報は、情報提供を目的としたものであり、いかなる有価証券・金融商品または取引についての募集、投資の勧誘や売買の推奨を目的としたものではありません。また、同時にその内容の正確性、完全性、公平性及び確実性を保証するものではありません。従いまして、本資料を利用した結果生じたいかなる損害についても、スカラは一切責任を負うものではありません。

なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利はスカラに属します。



〒150-8510
東京都渋谷区渋谷2-21-1 渋谷ヒカリエ32F
TEL : 03-6418-3960 (代表) <https://scalagr.jp>

2022年2月発行
Copyright © Scala, Inc. All rights reserved.